萩市立須佐歴史民俗資料館　テーマ展

藩校明倫館と郷校育英館

会期：平成 23 年 10 月 4 日（火）～12 月 4 日（日）

明倫館は、享保 4 年（1719）5 代萩藩主毛利吉元によって創建され、13 代藩主毛利敬親のときの嘉永 2 年（1849）に現在の明倫小学校の場所に移転、拡充されました。吉田松陰は明倫館の兵学教師で、木戸孝允や高杉晋作・久坂玄瑞らも明倫館で学びました。

育英館は、益田家 27 代元道（萩藩永代家老）によって明倫館開校直後の享保年間（1716～35）に創建されました。特に幕末には、吉田松陰の松下村塾や明倫館とも盛んに行き来し、伊藤博文や久坂玄瑞、品川弥二郎なども来訪しました。

明倫館と育英館の関係資料 25 点を展示します。また、吉田松陰が育英館生の大谷茂樹に贈った自筆の書も特別公開します。

明倫館額

育英館額

明倫館南門

育英館門

明倫館関係資料

古明倫館鳥瞰図（『八江萩名所図画』）	新明倫館鳥瞰図
孔子画像	明倫館魚板
明倫館稽古始仰付	明倫館釈菜儀次第書
釈菜儀注	釈菜祭器「豆」
明倫館木主御遷座事控	明倫館文学寮記念品汁椀
明倫館文学寮記念品茶碗	明倫館生徒御試次第書
明倫館聖廟祭文	国史纂論（長門明倫館蔵版）
論語（明倫館蔵版印）	小隊教練書（長門練兵場蔵板）
大隊教練書（長門練兵場蔵板）	生兵教練書（長門練兵場蔵板）

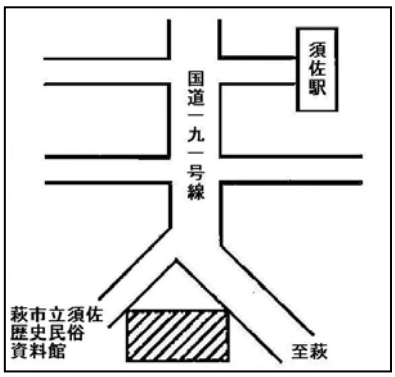
育英館関係資料

初代館長品川希明愛用の硯	2 代館長波田兼虎愛用の硯
2 代館長波田兼虎書	3 代館長山科真通書
4 代館長小国融書	育英館の規範
6 代館長坂上忠介書	

特別展示資料

士規七則・須佐の七生邑に帰るに贈る言（吉田松陰自筆）

交通アクセス



車で萩から 40 分、益田から 30 分、津和野から 1 時間

開館時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

入 館 料：大人（高校生以上）300 円、
小人（小中学生）150 円
（団体割引 20 人以上：大人 200 円・小人 100 円）

休 館 日：月曜日（但し 10 月 10 日は開館）、祝日の翌日（10 月 11 日（火）、12 日（水）、11 月 4 日（金）、24 日（木））

萩市立須佐歴史民俗資料館	〒759-3411　山口県萩市大字須佐 4441 番地 19 TEL 08387-6-3916　FAX 08387-6-2030